

平成19年1月9日

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成18年12月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年12月は下記のとおり8件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月5日	1783	車名：日野 型式：KS-FH2PHJA 他 通称名：日野プロフィア	12	平成17年10月4日～ 平成17年10月7日
不具合の部位等	原動機のコムロッド小端部内面の加工工程が不適切なため、当該小端部のブッシュ圧入部の表面が粗くなっているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブッシュに亀裂が生じ、破損することがあり、最悪の場合、コムロッドが破損してエンジンが停止するおそれがある。			

## 2. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月8日	1790	車名：ニッサン 型式：NL01 他 通称名：ニッサンフォークリフト	46	平成15年8月5日～ 平成18年9月16日
不具合の部位等	空気入りタイヤ装着車において、タイヤ負荷率が基準を満足していないものがあるため、そのまま使用を続けると、タイヤが変形し、最悪の場合、バーストするおそれがある。			

## 3. 届出者：三菱商事株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
12月11日	外1365	車名：ウィネベゴ 型式：不明 通称名：WC321RB 他	61	平成6年1月11日～ 平成8年9月3日
不具合の部位等	マスターシリンダーに取付けられている定速走行装置解除スイッチにおいて、内部のシール構造が不適切なため、ブレーキ液が漏れて接点が腐食することがある。そのため、スイッチが過熱されて溶解し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

## 4. 届出者：菱和車体工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月14日	1796	車名：三菱 型式：KC-BE632E改 他 通称名：ふそうローザ	32	平成11年7月15日～ 平成18年4月7日
不具合の部位等	前輪用及び後輪用のホイールキャップの形状が不適切なため、当該ホイールキャップを装着した場合、車体のフェンダーから突出するものがある。			

5. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月18日	1792	車名：日野 型式：PA-FT8JGFL 改 他 通称名：日野レンジャー	13	平成16年10月7日～ 平成17年11月25日
不具合の部位等	4輪駆動の消防自動車に自動変速機を搭載した車両において、前軸駆動用プロペラシャフトと自動変速機のオイル配管取付ボルトとの隙間が狭いため、急制動等車両前部が大きく沈み込むような状態となった際、当該シャフトとオイル配管取付ボルトが干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プロペラシャフトが損傷し、最悪の場合、当該シャフトが折損し、走行不能に至るおそれがある。			

6. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月18日	1797	車名：ニッサン 型式：PA-AHW41 他 通称名：シビリアン	70	平成11年2月10日～ 平成18年11月21日
不具合の部位等	幼児専用車において、幼児専用車であることを示す表示ラベルが貼り付けされていない車両がある。			

7. 届出者：トリアンフジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月22日	外1371	車名：トリアンフ 型式：SMTTF690 他 通称名：スプリント ST 1050 他	89	平成17年2月1日～ 平成18年2月2日
不具合の部位等	リアサスペンション連結部の構造が不適切なため、固定ボルトに直接負荷がかかるものとなっている。そのため、悪路等の走行を繰り返した場合、当該ボルトに過大な負荷がかかり、最悪の場合、ボルトが折損し、車両が転倒するおそれがある。			

8. 届出者：コベルコクレーン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月27日	1801	車名：コベルコ 型式：CM01 通称名：MK500	8	平成13年10月10日～ 平成18年9月28日
不具合の部位等	①かじ取装置のタイロッドの位置が不適切なため、最大かじ取り操作時にタイロッドとフロントアクスルが干渉するおそれがある。 ②かじ取装置のタイロッドの製作誤差により、最大かじ取り操作時にタイロッドエンドが車枠のアクスル取付座に干渉するおそれがある。 ③原動機の冷却ファンの材質が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、連続使用によりファンの羽根が疲労破断し、破断した羽根がラジエータに当たることがあり、最悪の場合、ラジエータを損傷し冷却水が漏れ、冷却水温度が上昇するおそれがある。			

[参考]

平成18年12月のリコール届出総件数(※)	内 訳	
	対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	17 件	6 件
輸入車	7 件	2 件
計	24 件	8 件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課  
リコール対策室 中村・木内  
電話 03-5253-8111(代表) (内線42352・42355)